

臨床工学科

アドミッションポリシー

■臨床工学科が求める学生像

臨床工学科では、優れた教授陣のもと、豊富な学生用実習機器、ネットワーク教育環境、コンピュータ自習環境を整え、患者さまの生命維持管理装置の操作、医療機器の安全管理という重要な業務に携わる臨床工学技士の教育にあたっています。臨床実習では、近隣だけでなく全国の病院の協力を頂いております。さらに、三重県臨床工学技士会をはじめとする様々な学会・職能団体のご協力を得て多様な心電図セミナー、体外循環セミナーなど様々な学外活動を展開しています。将来、臨床工学技士として指導的立場に立てるよう、単に知識を詰め込むだけでなく、新しい知識を自分で理解し、適切な判断ができる臨床工学技士の養成を目指しています。臨床工学技士の業務をよく理解し、本学科の特徴を生かして将来の医療人として貢献できる次のような人材を広く募集します。

■具体的な人物像

- ・患者さまの生命維持管理装置の操作という重要な仕事に、責任感をもって取り組む臨床工学技士を目指す意欲のある人
- ・臨床工学技士として十分な知識、思いやりのある人間性、的確な判断力を持ち、常に自身の知識・技能を向上し、患者さま・医療スタッフと適切なコミュニケーションをとりながら医療を実践することに意欲のある人
- ・病院内の医療機器・医療設備の安全管理に積極的に取り組み、医療事故防止への取り組みに意欲のある人
- ・病院内の臨床工学技士として、または臨床工学技士教育機関において指導的立場を目指す意欲のある人
- ・臨床工学技士の立場から機器の改善、開発に取り組むことに意欲のある人
- ・臨床工学、関連医工学の研究に意欲のある人
- ・臨床工学技士として地域医療に貢献することに意欲のある人
- ・臨床工学技士として災害被災地、医療過疎地の医療に国内だけでなく国際的にも貢献することに意欲のある人

カリキュラムポリシー

■医用工学部のカリキュラムポリシー

本学建学の精神及び教育の理念に基づき、医用工学部に臨床工学科と医用情報工学科を設置し、医学と工学分野の最先端科学技術を積極的に医療に活用できる学際的な教育・研究をおこなって、高度な専門知識と技術及び医療人にふさわしい教養と人間性を身につけた人材を育成することを目的とする。

■臨床工学科のカリキュラムポリシー

1. 生命維持管理用医療機器、治療用医療機器について正しく理解し、またその進歩に応じて、高度な業務を安全に行える臨床工学技士を育成する。
2. チーム医療を担う一員として、他の医療職種との連携協力関係を築き、思いやりのある医療を実現する。
3. 臨床工学および関連分野の科学的な研究に取り組み、その発展に貢献する。
4. 医療機器安全管理体制を理解し、規則の構築、人材の教育、組織の構成ができる臨床工学技士を育成する。
5. 緊急時、災害時の生命維持管理装置の安全な操作を可能にし、また地域の医療機関と連携して患者の治療・安全確保ができる体制の構築に貢献できる臨床工学技士を育成する。
6. 過疎地域の医療支援および国際救援活動に積極的に参加できる臨床工学技士を育成する。

ディプロマポリシー

■医用工学部のディプロマポリシー

臨床工学または医用情報工学の専門領域に加え医学・医療の幅広い知識と技術を修得し、高い教養と倫理観を身につけると共に、専門職業人としての強い責任感、指導力、意思疎通能力を磨き、探究心・研究心を高め、高度先進医療、地域医療に対応することができる。また幅広い知識を背景に、常に医療の最新情報を収集・実践できる能力を高めることができる。

■臨床工学科のディプロマポリシー

1. 患者様や医療従事者の話をよく理解し、また適切に対応できるコミュニケーション能力を身につけている。
2. 臨床工学、生命維持管理装置、および関連分野の文献を理解し、同僚、他の医療従事者に文書や図表で伝える能力を身につけている。
3. チーム医療を担う一員として他職種の業務を理解し、協力関係を築き、指導者となれる素養を身につけている。
4. 臨床工学関連の基礎医学、臨床医学の知識を身につけている。
5. 臨床工学技士が取り扱う生命維持管理装置の操作・安全管理の知識および技能を習熟している。
6. 臨床工学関連の理工学、すなわち物理学、化学、生物学、数学、電気・電子工学、機械工学、材料工学、物性工学、システム工学の基礎知識を身につけている。
7. 臨床工学技士が関与する情報処理技術、ネットワーク技術の基礎知識と技能を身につけている。
8. 臨床工学および関連分野の研究を通して、文献講読力、論理的思考力、説明能力を身につけている。